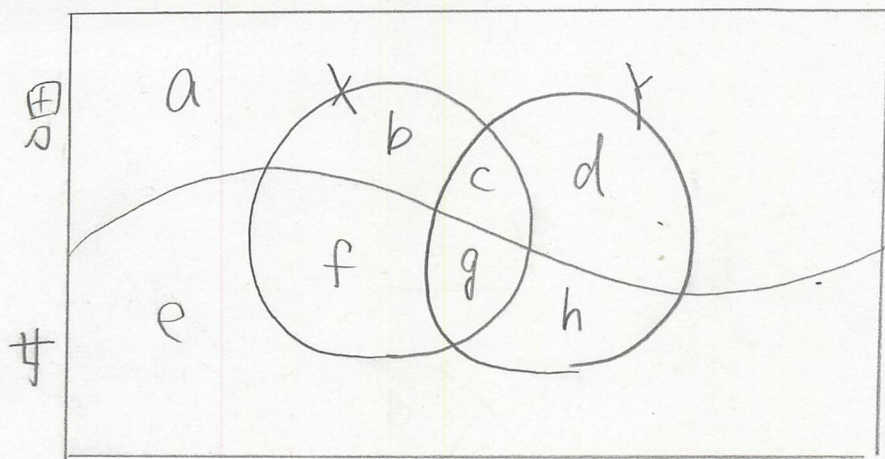


# 数学A

Ex 3.



左の図のように、  
 上Fで男、下Fで女、円でX、Yを  
 見たものを表す。  
 それぞれの区別の人数を  
 a~hで表す。  
 (例: 男子でXのみを見たもの = b)

問題で与えられたア~キの条件と上図のa~hを用いて8つの式を作成可能。

- アから、  $a + b + c + d = 41$ 、 $e + f + g + h = 57$  - ①
- イから、  $b + c + f + g = 34$  - ②
- ウから、  $c + d + g + h = 26$  - ③
- エから、  $d + h = 13$  - ④
- オから、  $b + c = 11$  - ⑤
- カから、  $c = 5$  - ⑥
- キから、  $e = 31$  - ⑦

④に与えられた条件から人数を  
 書き込んでいくのと同じく、連立  
 方程式を作って人数を求めていく。

①~⑦の式から連立して、

$a = 20, b = 6, c = 5, d = 10, e = 31, f = 15, g = 8, h = 3$  が得られる。

- (1) Xのみを見た女性 =  $f = 15$
- (2) Xを見たことのない女性 =  $e + h = 34$
- (3) Yを見たことのある男性 =  $c + d = 15$